



プレスキット
2026年6月30日
報道関係者各位

Osaka International Contemporary Dance Festival (OICDF) 2026 プレスキット

内容

- [1. プレスリリース](#)
- [2. メディア向け取材案内](#)
- [3. イベントフライヤー](#)

公式サイト

<https://osakainternationalcontemporarydancefestival.com/>

1. プレスリリース

世界6か国と日本全国からアーティストが北加賀屋に集結

大阪・北加賀屋から世界へ。

「世界が訪れたくなる大阪」を目指す国際文化
プロジェクト

Osaka International Contemporary Dance Festival (OICDF) 2026 開催

大阪・住之江区北加賀屋のAcco Space μ(主催・会場)にて、2026年8月8日(土)・9日(日)、14日(金)・15日(土)・16日(日)の5日間、**Osaka International Contemporary Dance Festival (OICDF) 2026**を開催いたします。

OICDFは、「日本にしながら世界と出会う。」をコンセプトに、世界6か国と日本全国からアーティストが集う、国際文化プロジェクトとして開催するコンテンポラリーダンスフェスティバルです。

今年は、イタリア、フランス、アメリカ、台湾、韓国、日本の6か国からアーティストが参加し、日本全国からも出演者・参加者が大阪・北加賀屋に集います。

一般公開プログラムでは、国内外で活躍するアーティストや大学教授等によるワークショップ・セミナー、海外振付家と日本のダンサーによる国際共同創作公演、日本・海外12組による国際ショーケース公演に加え、アーティストとのクロストークや観客参加型ライブ・クリエーションなど、多様なプログラムを実施します。

ダンス経験の有無を問わず、どなたでも参加・鑑賞いただける、市民に開かれた国際文化事業です。

本事業は、公益財団法人芳泉文化財団の助成を受けて実施いたします。

なぜOICDFを立ち上げたのか

OICDFは、ニューヨークを拠点に活動する大阪出身のダンサー・振付家、武島アイカが、「大阪から世界へ」ではなく、「世界が大阪に集い、多様な文化や価値観が交わる場をつくりたい」という思いから立ち上げた国際文化プロジェクトです。

武島は2014年よりニューヨークを拠点に活動し、芸術が社会や教育と深く結びつき、美術・音楽・演劇・テクノロジーなど多様な分野と融合しながら発展する創造環境を経験してきました。また、異なる文化や価値観を持つ人々が対話を重ね、新たな表現を生み出していく姿に触れ、芸術には人の視野を広げ、社会に新たな視点をもたらす力があることを実感しました。

帰国後は、日本各地でワークショップや創作活動を行う中で、大阪が持つ創造力や、人と人との距離の近さ、そして北加賀屋に根づく豊かなアートコミュニティに大きな可能性を感じました。世界で得た経験と、大阪という地域の力を掛け合わせることで、新しい文化が生まれる場を育てたい。その思いがOICDFの原点です。

私たちが目指しているのは、海外アーティストを招くこと自体ではありません。

異なる身体、文化、価値観が出会い、互いの違いから新たな視点や創造が生まれる環境を育てること。そして、その出会いをアーティストだけのものにせず、市民の皆様にも開いていくことです。

変化が大きく、多様な価値観が共存する現代において、自分とは異なる文化や視点に触れることは、新たな発想や創造性を育む大切なきっかけになります。

OICDFは、ダンスを一部の専門家だけのものではなく、人と人、地域と世界をつなぐ文化として社会に開き、大阪を、多様な文化と視点が交わる「創造性の交差点」へ育てていくことを目指しています。

OICDF 2026 プログラム

学ぶ ― 世界の創造に触れる(8月8日・9日)

フェスティバルの前半では、国内外で活躍するアーティストや大学教授等によるワークショップ・セミナーを開催します。

コンテンポラリーダンスの技法だけではなく、創作、身体表現、衣装、美術史・ダンス史、異文化理解など、多角的なテーマを通して「身体で考えること」「創造すること」を学びます。

ダンス経験者だけではなく、初めて身体表現に触れる方にも開かれたプログラムとなっており、それぞれの立場から世界の多様な身体文化や創作方法に出会うことができます。

OICDFが目指すのは、「正解を学ぶ場」ではありません。

異なる考え方や身体性に出会い、自分自身の視点を広げるきっかけを育むことです。

創る・対話する ― 国境を越えて共に創る(8月14日・15日)

後半では、イタリアの振付家 **Katia Tubini** と日本全国から集まった10名のダンサーによる国際共同創作作品を上演します。

さらに、全国公募で唯一選出されたレジデント振付家による新作も発表します。

OICDFでは、公演も創作プロセスの一部と考えています。

そのため終演後には、各作品のQ&Aに加え、

「日本 × ヨーロッパ × ニューヨーク ダンスクロストーク」

を開催します。

イタリアの振付家 **Katia Tubini** と、ニューヨークを拠点に活動する sarAika movement collective 共同芸術監督であり、OICDF共同芸術監督でもある **Sara Pizzi** と武島アイカの進行のもと、日本・ヨーロッパ・ニューヨーク、それぞれのダンスシーンや創作環境について語り合います。

作品がどのような背景や文化から生まれたのか。

創作環境の違いは作品にどのような影響を与えるのか。

身体表現を通して見えてくる各地域の文化や価値観とは何か。

作品を「観て終わる」のではなく、その背景にある思想や文化まで共有することで、創作をより深く体験できる機会を提供します。

観る・参加する ― 観客も創造の一員になる(8月16日)

フェスティバル最終日は、日本・海外12組のアーティストによる国際ショーケース公演を開催します。

コンテンポラリーダンス、舞踏、コーポリアルマイム、ダンスシアターなど、多様な身体表現が一堂に会し、一日を通して世界各地の身体文化や創作アプローチを体験できます。

さらにOICDFでは、観客は作品を受け取るだけの存在ではありません。

公演の一部では、観客参加型ライブ・クリエーションを実施します。

アーティストと観客が即興的な創作とともに体験し、その場で一つの作品を立ち上げていくプログラムです。

ダンス経験は必要ありません。

「観る人」と「創る人」という境界を越え、一人ひとりが創造の一員となる。

OICDFは、アートに限られた人のためのものではなく、市民一人ひとりが文化や表現と出会い、自らも創造に関わることでできる場として社会に開いていきます。

OICDFが目指す未来

私たちは、ダンスフェスティバルを開催したいわけではありません。

私たちが育てたいのは、人と人、地域と世界、多様な文化や価値観が出会い、新しい視点が生まれる環境です。

社会が複雑化し、多様な価値観が共存する現代において、自分とは異なる文化や考え方、身体性に触れることは、芸術に限らず、新しい発想や創造性を育む大切なきっかけになります。

OICDFは、ダンスを一部の専門家だけのものではなく、誰もが世界の文化や身体表現に触れ、自らの世界を少し広げることのできる文化として社会に開いていきます。

私たちが届けたいのは、作品だけではありません。

その作品が生まれた背景。

そこにある文化。

異なる身体と言葉が出会うことで生まれる対話。

そして、自分とは違う視点と出会う体験です。

OICDFでは、「創る人」「踊る人」「観る人」を分けて考えません。

ワークショップでは学び、公演では作品を味わい、クロストークでは創作の背景に耳を傾け、観客参加型ライブ・クリエーションでは、自らも創造の一員となる。

それぞれが異なる立場から創造に関わることで、新しい対話が生まれます。

私たちは、その積み重ねが地域の文化を豊かにし、未来の創造につながると信じています。

OICDFが目指すのは、「世界へ送り出す場所」ではありません。

世界が訪れたい大阪です。

世界中のアーティスト、市民、学生、研究者、子どもたちが大阪に集い、ともに学び、創り、語り合う。

そんな文化が根付くことで、大阪は世界中の多様な視点が交わる「創造性の交差点」へと育っていく。

OICDFは、その未来を、北加賀屋から育てていきます。

開催概要

名称

Osaka International Contemporary Dance Festival (OICDF) 2026

一般公開プログラム

2026年8月8日(土)・9日(日)

国内外のアーティスト・大学教授等によるワークショップ・セミナー

2026年8月14日(金)・15日(土)

国際レジデンシー公演

(海外振付家と日本のダンサーによる国際共同創作作品、国内レジデント振付家による新作公演)

終演後: 日本 × ヨーロッパ × ニューヨーク ダンスクロストーク

2026年8月16日(日)

国際ショーケース公演

(国内外12組による作品上演・観客参加型ライブ・クリエーション)

主催・会場

Acco Space μ(アコスペースミュー)

企画

sarAika movement collective

芸術監督

武島アイカ

所在地

〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋5丁目4-19 MIU kitakagaya 3階

公式サイト

<https://osakainternationalcontemporarydancefestival.com/>

助成

公益財団法人芳泉文化財団

協賛

株式会社 MORINOMIYA ARTS

2. メディア向け取材案内

メディア関係者の皆様へ

取材のご案内

世界6か国と日本全国からアーティストが
北加賀屋に集結

大阪・北加賀屋から世界へ。

「世界が訪れたくなる大阪」を目指す国際文化プロジェクト



取材・インタビュー歓迎

**Osaka International Contemporary Dance Festival
(OICDF) 2026**

「日本にしながら世界と出会う。」をコンセプトに、世界6か国と日本全国からアーティストが集う国際文化プロジェクトとして開催するコンテンポラリーダンスフェスティバルです。

ワークショップ、国際共同創作、公演、アーティストとのクロストーク、観客参加型ライブ・クリエーションを通して、「学ぶ・創る・観る・対話する」という一連のプロセスを市民に開き、多様な文化や価値観が交わる場を育みます。

取材ポイント

- 世界6か国・日本全国からアーティストが大阪・北加賀屋に集結
 - イタリアの振付家と日本のダンサーによる国際共同創作作品を上演
 - 日本・ヨーロッパ・ニューヨークのダンスシーンを語る国際クロストークを開催
 - 観客参加型ライブ・クリエーションなど、市民参加型プログラムを実施
 - 「世界が訪れたい大阪」を目指し、地域と世界をつなぐ国際文化プロジェクト
-

一般公開プログラム

8月8日(土)・9日(日)

Workshop & Seminar

国内外で活躍するアーティスト・大学教授等によるワークショップ・セミナー

8月14日(金)・15日(土)

International Residency Performance

- イタリアの振付家 Katia Tubini と日本のダンサーによる国際共同創作作品
- 全国公募より選出されたレジデント振付家による新作

終演後

日本 × ヨーロッパ × ニューヨーク ダンスクロストーク

イタリアの振付家 **Katia Tubini**と、sarAika movement collective 共同芸術監督であり、OICDF 共同芸術監督でもある**Sara Pizzi**と武島アイカ の進行のもと、日本・ヨーロッパ・ニューヨーク、それぞれのダンスシーンや創作環境について語り合います。

8月16日(日)

International Showcase Performance

- 国内外12組によるショーケース公演
- 観客参加型ライブ・クリエーション

アーティストと観客がともに作品を立ち上げる、市民参加型プログラムを実施します。

取材可能内容

- ニューヨークを拠点に活動する大阪出身の振付家が、なぜ大阪で国際文化プロジェクトを立ち上げたのか
 - 国内外から参加する振付家・ダンサー・出演アーティストへの個別インタビュー(事前調整可)
 - ミラノオリンピック閉会式にも携わったイタリアの振付師と日本のダンサーによる国際共同創作の現場やリハーサルの取材・撮影(事前調整可)
 - 「世界が訪れたい大阪」を目指す国際文化プロジェクトとしての取り組み
 - アートを通して地域と世界をつなぐ文化交流と、北加賀屋を拠点とした地域文化の発信
 - 世界6か国と日本全国のアーティストが集い、市民参加型プログラムや創作を通して交流する取り組み
-

撮影について

写真・動画ともに撮影可能です。

撮影位置やタイミングについては当日スタッフがご案内いたします。

※一部プログラムは事前調整をお願いする場合があります。

取材のお申し込み

事前にメールまたはお電話にてご連絡ください。

当日の取材も可能な限り対応いたします。

お問い合わせ

Osaka International Contemporary Dance Festival (OICDF)

E-mail: osk.int.contemporary.dance.fes@gmail.com (芸術監督 武島アイカ)

TEL: 07026481795 (主催/会場 Acco Space μ 松本鈴香)

公式サイト

<https://osakainternationalcontemporarydancefestival.com/>

OICDFについて

Osaka International Contemporary Dance Festival (OICDF) は、「日本にしながら世界と出会う。」をコンセプトに、大阪・北加賀屋を拠点として開催する国際文化プロジェクトとして開催するコンテンポラリーダンスフェスティバルです。国内外のアーティストと市民が「学ぶ・創る・観る・対話する」ことを通して、多様な文化や価値観が交わる場を育んでいます。

公式サイト <https://osakainternationalcontemporarydancefestival.com/>

3. イベントフライヤー



The poster features a dark green background with a large orange and grey chevron graphic on the right. The title 'OSAKA INTERNATIONAL CONTEMPORARY DANCE FESTIVAL 2026 BECOMING' is written in large, bold, orange-outlined letters. The dates '2026 AUGUST 8/8~8/16' are in white. The venue 'ACCO SPACE μ' is listed with its address in white. A QR code is provided for more information. A box on the right contains text about domestic and international artists, workshops, and residency performances. At the bottom, there are three lines of text in green and white: '学ぶ。創る。観る。世界と出会う。', '日本にしながら、世界と出会う。世界とともに創る。', and '日本と世界をつなぐ 国際コンテンポラリーダンスフェスティバル。'.

OICDF 2026
BECOMING

2026
AUGUST
8/8~8/16

ACCO SPACE μ
〒559-0011
大阪府大阪市
住之江区
北加賀屋5丁目
4-19
MIU KITAKAGAYA
3階

ワークショップ・公演の
詳細・お申込みはこちら



QRコードまたは下記
ウェブサイトをご
覧ください。
[HTTPS://OSAKAINTERNAT
IONALCONTEMPORARYDANC
EFESTIVAL.COM](https://osakainternationalcontemporarydancefestival.com)

企画・芸術監督: sarAika movement collective
助成: 公益財団法人 芳泉文化財団
協賛: 株式会社 MORINOMIYA ARTS
(IB Artist Support)

主催: Acco Space μ

**OSAKA
INTERNATIONAL
CONTEMPORARY
DANCE FESTIVAL
2026
BECOMING**

国内外
アーティスト
による
ワークショップ
レジデンス公演
国際ショーケース

学ぶ。創る。観る。世界と出会う。
日本にしながら、世界と出会う。世界とともに創る。
日本と世界をつなぐ
国際コンテンポラリーダンスフェスティバル。

WORKSHOPS

ダンス・衣装・創作・観賞を多角的に学ぶ。
世界で活躍するアーティストや大学教授による、
この日限りのOICDF限定ワークショップ。

ワークショップ
↓お申込み↓



8/8(土)

10:00~11:30 BLACKパフォーマンスワークショップ by performance project BLACK
12:30~13:30 舞台衣装とパフォーマンスの関係 by 成安造形大学 田中秀彦教授
14:00~15:30 コンテンポラリーダンステクニック by Katia Tubini (イタリア)
16:00~17:30 グラハム&カニングハム 2大テクニックワークショップ by 京都女子大学/武庫川女子大学講師 鞍掛綾子
18:00~19:30 コンテンポラリーデュエットレパートリー by sarAika movement collective (アメリカ)

8/9(日)

10:00~11:30 コンテンポラリーパレメソッド FOR DANCERS by MORINOMIYA ARTS STUDIO主宰上杉真由
12:00~13:30 コンテンポラリーダンステクニック by sarAika movement collective (アメリカ)
14:00~15:00 「コンテンポラリーダンスって何？」ダンス&アートヒストリー by OICDF 芸術監督 武島アイカ
15:30~17:00 『思考するカラダ』コーポリアルマイム体験WS by 増井友紀子 (tarinainanika)
17:30~19:00 コンテンポラリー "In Motion with Althea Dance Company" by Thea Bautista (フランス)

SHOWS

全4公演・14組のアーティストが国内外より集結。
イタリア、フランス、台湾、韓国、アメリカ、日本。
世界の多彩な身体表現が交差する4つの舞台。

〈各回2作品/両日同内容〉

国際レジデンシー公演：8/14(金) & 8/15(土) 両日共に19:00~

全国公募から唯一選出された振付家による新作と、イタリアの振付家KATIA TUBINIと日本全国から選抜されたダンサーによる国際共同創作作品を上演。



International Pro Performance LAB

イタリアより来日！Katia Tubini (LPP_project dance company)
アジア初演『Just Keep Waiting』

世界で活躍するイタリアの振付家 Katia Tubini と、日本全国から選抜されたダンサーが創作する国際レジデンシープログラム。

ニューヨークやイタリアで発展を続けてきたKatiaの代表作『JUST KEEP WAITING』を、日本のダンサーと共に再創作。本作は「待つこと」「不確実性」「人とのつながり」をテーマにしたコンテンポラリーダンス作品で、OICDFでの上演はアジア初演となります。

各種公演チケット
↓お申込み↓



Choreographic LAB

青柳美乃里による新作初演

全国公募から唯一選出されたレジデント振付家青柳美乃里による新作初演。
Choreographic LABは、国内振付家がリサーチ、創作、対話、フィードバックを重ねながら新作を立ち上げるレジデンシープログラムです。本作は、その創作プロセスを経て生まれた新作として、OICDFにて初公開されます。



©Nishi Junnosuke

国際ショーケース公演：8/16(日) 14:00~ | 18:00~ 〈各回異なるプログラムです〉

各回6作品上演 | 全12作品

コンテンポラリーダンス、舞踏、コーポリアルマイム、観客参加型パフォーマンスなど、国内外から選出されたアーティストによる多様な身体表現が集結。



※やむを得ない事情により、出演者・講師・プログラム内容は変更となる場合があります。
最新情報は公式ウェブサイトをご覧ください。



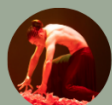
Tomoka/KURU



Althea Dance Company



鄭啓君



原田みのる



Poppy Louise Miller



performance project BLACK



sarAika movement collective



増井友紀子 (tarinainanika)



武田摩耶/禹泰旭 (Woo Taewook)



木原由実



Rebecca Lloyd-Jones



Yaroque Dance Theatre



主催：Acco Space μ

企画・芸術監督：sarAika movement collective



助成：公益財団法人 芳泉文化財団



MORINOMIYA ARTS

協賛：株式会社MORINOMIYA ARTS (IB Artist Support)